



企業のあり方

令和7年1月13日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

企業がトレンドに迎合することは、先端性における需要へ正しい必要性である。また働くことが企業の使命であることも正しい。

これら双方の現実が、独創性と創造性における企業の未来を可能とできるのである。これら健全な企業風土が、未来を実現できるのである。

これらは正しい企業の在り方は、トレンドを追求することのみでないのである。ただし倫理的な判断が企業を与えることがその基盤として求められるのである。

これらは健全な労働意欲と企業環境を構築し、正しい企業経営とともに、企業が時代とともにした正しい自己を得ることができるのである。

これら優れた企業環境と風土は、最も優れた企業の遺産なのである。これらが未来を有するからである。

また働くことへの正しい判断や健全な経営判断において、企業の優秀さは存在するのである。

これら勤労性を放棄しトレンドへ迎合することは必ずしも正しくない。企業における正しい評価は必ず働くことにおいて与えられなくてはいけないのである。

これらにおいて経営判断が重要になるのである。経営判断が企業を決定するからである。

これら経営チームにおける大きな責任は企業のすべての責任であり、その優れた理解や認識はより優れた企業を実現するのである。

また企業におけるソフト資産が進歩し時代と現実は到達することが企業が時代へ参加できることなのである。

これらにおいて先端性と時代の牽引を得ることがより優れた企業経営なのである。